

大会名：第51回全日本実業団男子ソフトボール選手権大会、近畿予選会

代表決定戦

会場：堺市 みなと堺グリーン広場

試合日：平成23年 5月 14日 試合No. 2

試合戦評 帝人大阪研究センター逆転勝利で2年連続全国大会へ！

帝人大阪研究センターは初回、相手の守備の乱れから先制する、その裏自らの守備の破綻から逆転を許した、しかし2回、柿谷の本塁打、4回、寺林の本塁打等で追い上げると、5回に逆転し初回の初回のハンデを克服、7回には打者12人攻撃で勝利を不動にした。

一方、ダイハツディーゼルは相手投手の立ち上がりを攻め一度は逆転した、その後は立ち直った相手投手から8安打を奪ったものの決定打が出ず攻め切れなかった。

記載者 山根浩明

代表決定戦

試合No. 3

試合戦評 パナソニック滋賀乱打戦を制して、近畿代表に！

パナソニック滋賀は、初回相手投手の乱調に乗じ4四球と夏見の満塁本塁打で優位に立ち、その後も3本の本塁打を含め19安打の猛攻で25得点を挙げ大勝。

一方、ユニバーサル造船舞鶴は須賀投手に抑えられて居た、4回に岸本の本塁打で1点を返し

5回には門、松本の本塁打を含む8安打と打線が爆発し盛り返したものの、得点差が大きく12安打を放ったものの敗れた。

記載者 堀川俊純

代表決定戦

試合No. 4

試合戦評 岡住 近畿代表大会を勝利し3年連続全国大会へ！

岡住は1回、一死一三塁の好機に4番馬場の左翼前適時打で先制すると、後続が攻撃の手を緩めず細川の三塁打等で得点を重ね大量8得点と優位に進め、4回には二死満塁の好機に野村の二塁打で追加点を挙げ圧勝した。

一方、三菱重工神戸は大量失点を追う3回、二死1塁3塁の好機に堀部の三塁打で2点を返すが、岡住の継投の前に反撃出来なかった。

記載者 福島 登

代表決定戦

試合No. 5

試合戦評 和歌山県庁 全国大会近畿代表に名乗り！

和歌山県庁は先制された1回裏、三栖の三塁打で反撃を開始し、6個の四球と高野の二塁打等で5点のハンデを打ち返し、9点と逆転に成功。その後も堀の3点本塁打などで得点を重ね大量14点と試合を優位に進め、5回に得点差コールドで代表権を獲得。

一方、カネカ高砂は相手投手の立ち上がりを攻め川中、久保の二塁打、佐々木の三塁打と長打で5点の先行するも和歌山江川投手を打ち崩せず敗退した。

記載者 山根浩明